

平成29年度 学校目標 (全日制)

県立神奈川総合産業高等学校長

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	① 探求活動、体験活動、研究活動の充実をはかり、生徒一人ひとりが個性を生かして主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを構築する。 ② 創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣の確立を目指し、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習支援を目指す。	① 国際的に活躍する創造的な科学技術系人材を育成する。 ② 生徒一人ひとりが主体的に学習する基盤を養い、表現力の育成と学習習慣を確立し、より高い学力を定着させる。 ③ 半期認定制度の効果を検証する。	① 実験、実習、演習等による科学技術教育及び英語教育を充実する。生徒のプレゼンテーション能力向上を目指し、外部発表会等へ積極的に参加する。 ② 基礎学力から発展への学力向上を目指し、GWPW*等の言語活動を重視した授業展開をいかして、思考力、判断力、表現力を育むための主体的な学びと学習習慣を確立する。また、学習計画ガイダンス、個別ガイダンス、面談等の充実により、生徒にとってわかりやすい科目登録や履修指導を実施する。 * : GWPW (Group Work Pair Work)	① 校内の発表会や外部発表会等に全員が積極的に参加し、生徒のプレゼンテーション能力の向上が図られたか。 ② 言語活動を重視した授業を実践し、思考力、判断力、表現力を育み、生徒の学習習慣定着につながったか。 ③ 半期単位認定制に関して、生徒にとって履修しやすい選択科目の登録につながられたか。 ④ 生徒自らが受信して考え、発信する場の設定ができたか。
2 生徒指導・ 支援	① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、安心して安全に希望をもって学べる学校づくりを進める。	① 生徒が主体となり、個性に応じた高校生活を送り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。	① 生徒会活動の活性化と充実をはかる。 ② 年次会を核とした情報交換を徹底し、相談体制とケース会議を充実させる。 ③ 関係グループと連携して、挨拶の励行や校内美化の推進をはかる。	① 生徒会活動の取組み状況と成果は十分であったか。 ② 生徒の状況把握と適切な支援のためケース会議を定期的開催することができたか。 ③ 学校生活が安全で安心であるか。
3 進路指導・ 支援	① 社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育の推進を行う。	① ガイダンス体制の充実と生徒の主体的な進路選択を支援する。	① キャリア教育実践プログラムに基づいた進路指導の実施とインターンシップを実施する。 ② 個々の生徒の相談に対応できる体制や指導・講習会を充実し、シチズンシップ教育、道徳教育の充実を図る。	① 年間の進路指導計画に基づくガイダンスを計画的に実施できたか。 ② 生徒の進路実現状況がミスマッチのない希望の進路先となっているか。
4 地域等との 協働	① 積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。	① 地域および他校間との連携を強化し、開かれた学校とする。 ② 小学校と連携して科学技術体験教室を4校で実施する。	① コミュニティ・スクール(CS)指定校として特色ある教育活動を推進する。 ② ホームページ等を活用した学校広報活動を推進する。 ③ 地域に根ざした交通安全啓発活動等の取組みを推進する。	① CSの取組み状況や活動状況とその成果は十分であったか。 ② 地域や外部機関との連携、活動状況やその成果は十分であったか。
5 学校管理 学校運営	① 事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力の向上を目指す。 ② 生徒の防災意識を高め、防災教育の推進をはかる。	① 職員の不祥事防止の徹底。 ② 防災教育の充実により、信頼される学校とする。 ③ 生徒、保護者と職員の信頼関係のもと、充実した式典等の学校行事に取り組む。	① 事故防止会議および事故防止研修の継続による職員コンプライアンスを向上する。特に私費会計基準の適切な運用を行う。 ② 生徒の防災意識の喚起および安全対策を行う。 ③ 教職員の実践的指導力の向上により生徒自らが考え、主体的に式典等学校行事に取り組みせる姿勢づくりを図る。	① 事故および不祥事件数のゼロを継続できたか ② 計画的な予算執行が行えたか。 ③ 防災教育として、緊急時の対応を含め具体的な行事を実施できたか。 ④ 生徒が主体的運営に携わりどれだけ事故不祥事防止につながられたか。